

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	①汚染水貯槽 (「技術提案募集の内容」の該当番号を記載願います)
御提案件名	既設ボルト接合型タンクの健全化 (溶接構造化) について
御提案者	西浦 功
<p>1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)</p> <p>エア・スジョン・タンクムベージ工法の採用により、既存タンクの構造にダメージを与える事なく新規溶接底板上に移設し、後に側部上部を全て溶接し既設ボルト構造タンクの健全化 (溶接構造化) を計る。</p> <p><特徴> ・既設ボルト型タンクの素材を全て放棄せず、健全化する (コスト面での配慮) ・最大の難関、タンク底板を円滑に溶接底板に交換できる (特殊工法の採用) ・側部以上は既設材のまま接合部を溶接構造化する (工程面での配慮) ・周囲のタンクを稼働させたまま、少数基が連続的に健全化できる (埠中の稼働確保) ・作業者をタンク内部に入らず、全てを外部作業で対応できる (被ばく低減への配慮) ・底板を含め、全てを溶接化し、物理的に改修を確認できる (性能の確認・確保)</p> <p><工事の仕様> 工事の手順は別紙に示す。 現状タンク (ボルト接合型) の側底部全周に特殊なシール装置を取り付け、その内部に送気してタンク内部の圧力を上げる事により、タンク自体を浮上させ、任意の位置に誘導、移動させて定着お工法である。</p> <p><性能> ・既設タンクをそのままの状態で (内容物は空) 浮上移動させる為、側部より上部の構造に性能、機能の低下につながる負荷を与えないで健全底板 (新規溶接底板) 上に定着させる事ができる。 ・堤岸にた工法以外に、陸上でタンクを移動させる手段として新規製作したタンクの移動装置など超大型の重機を使用し、陸上移送手段としても可能である。</p> <p>2. 備考 (以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします)</p> <p>・開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む) 弊社は過去に国内1例 (4基)、海外1例 (1基) の実績を有し、いずれも5万^{KL}を最大とする大型タンクでの実績である。</p> <p>・開発・実用化に向けた課題・留意点 特に工法に向けた向題点はないと思われすが、いじ上げると次の2点 (1) 最後の定積から20年経過している臭と、小型タンクに向けた実機確認が必要である。 (2) エア・ブローによる移設時の粉塵の飛散への懸念。</p> <p>・その他 (特許等を保有している場合の参照情報等) 本工法の基本は50年程前に英国で考案された原理を源としているが、すでに多経年しており念の為調査中ではあるが、独自に施工した向題は生じない状況にある。</p>	